



打ち上げられた
H-II Aロケット40号機 ©三菱重工/JAXA

H-II Aロケット40号機 / 「いぶき2号」打ち上げ成功

10月29日、温室効果ガス観測技術衛星2号「いぶき2号」(GOSAT-2)を搭載したH-II Aロケット40号機の打ち上げが成功しました。

今回の打ち上げにおいて当社が開発を担当した機器は次の通りです。H-II Aロケットには、固体ロケットブースターや衛星の切り離しを撮像するために、画像圧縮伝送装置(PCE-ss)と3台のロケット搭載カメラおよびその照明装置が搭載されています。「いぶき2号」には、太陽電池パドルや通信用アンテナの展開を撮像するための3台のモニタカメラと、そのコントロールユニットが搭載されています。また、ロケット打ち上げ時の種子島上空の気象を確認するためのラジオゾンデによる観測も当社が担当しました。

当社は、これからもさまざまな場面で宇宙観測に貢献できるよう各種開発を進めていきます。

(担当: 宇宙防衛事業部)



TICAD関係会合
開会式の様子 外務省ホームページより

日本アフリカ・ビジネス・フェア2018に出展

10月7日にアフリカ開発会議(TICAD)関係会合のサイドイベントとして、「日本アフリカ・ビジネス・フェア2018(Japan-Africa Business Fair 2018)」が行われました。当社は、双葉インターナショナル株式会社様のブースとIHIのブースにて、POTEKA小型気象計と地震計を展示しました。それぞれのブースには、河野太郎外務大臣、佐藤正久外務副大臣、山田賢司外務大臣政務官が立ち寄られ、事業活動や展示品について説明を受けておられました。今後もこのような機会を活用して、アフリカ各国へ当社製品を紹介するとともに、当社の認知度向上を目指します。

アフリカのみならず世界各国の安全、安心な社会の発展に貢献できるよう、事業を展開していきます。

(担当: 気象防災事業部)



展示ブース全景

気象技術世界博覧会(MTWE) 2018に出展

気象技術世界博覧会(MTWE)が10月9日から11日までオランダのアムステルダムで開催されました。当社は5年連続の出展となり、今回はRadiosonde Museumと銘を打ち、80年にわたるゾンデの歴史の紹介、最新の高層気象観測機器を出展しました。世界トップクラスの小型軽量GPSラジオゾンデiMS-100に加え、環境計測用放射能ゾンデ・CO2ゾンデ・CPSゾンデなどを展示しました。また、将来の高層気象観測における新たな基準湿度センサーとして期待されるSKYDEWセンサーを展示し、各国気象局観測従事者や研究所関係者、WMO関係者などの訪問を受け、良い情報交換の場となりました。

当社はこれまでの経験・ノウハウを生かした先進的な製品を提供し、気象観測・地球環境モニターに貢献していきます。

(担当: 気象防災事業部)

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。